

県外派遣報告書

作成日:6月24日

大会名	第72回全九州高等学校バスケットボール競技大会	会場	沖縄県立武道館アリーナ
期間	令和1年6月21日～6月23日	報告者	前田 隼大
スケジュール			
期日	内容	場所	
6月22日	8:30～ 審判会議・講義	沖縄県立武道館アリーナ	
	9:00～ 大会1日目	沖縄県立武道館アリーナ	
6月23日	9:00～ 大会2日目	沖縄県立武道館アリーナ	
審判会議・講義			

●審判会議

- ・スコアシートは新スコアシートを使用、コーチのサインの欄がないため名前の隣に記名を。
- ・自チームに対する振る舞いもTFの対象になる
- ・ゲーム中のクロック、ファールの確認(各チーム毎、何かある際はデッドボール時に確認を)

●講義(松本氏 佐賀県S級)

・「メカはベーシックに」「プレーコーリングはシンプルに」「処置ミス0」

◎ IOTの確認

45 OPEN ANGLEの際に身体の向きと顔の向きが異なることが多く見受けられる

◎ メカニクスの確認

確認の重要性→答えを知らないことがないように(処置ミス0へ)

Fをしたプレイヤー、されたプレイヤー、ボールステータスの確認

◎ クルーワーク、コミュニケーション、プライマリ、CC Mentality、referee IQ

ライセンスが異なっても持っている情報を伝える

◎ EOQ、EOGのプライマリ確認

割り当て	6月22日	男子1回戦 興南(沖縄2位)vs九州学院(熊本1位)	U2	クルー	CC:福岡氏(長崎S級)U1:川島氏(宮崎A級)
	6月23日	男子順位決定戦 豊見城(沖縄1位)vs延岡学園(宮崎1位)	U2	クルー	CC:岩尾氏(熊本A級)U1:樋口氏(大分A級)

●プレゲームカンファレンス

- ・メカニクスの確認
プライマリ、ダブルコール、3vs2、リバウンドマッチアップ、プレスシチュエーション、ヘルプ
- ・IOTの確認
- ・TF、UF、DQの確認
- ・EOQ、EOGの確認
- ・コミュニケーション(選手、コーチ、クルー)
- ・プレーコーリングの確認

●ゲームの実際

6/22 九州学院はトラップディフェンスからファストブレイク、3Pとハイスコアな展開に対し興南はドライブからの合わせ、インサイドでの加点が多くみられた。どちらもアタック時のコンタクトが多くみられるゲームとなった。

6/23 留学生のゴール下のプレイで点数を伸ばした延岡学園、ドライブからの合わせでアウトサイドでの加点が多くみられた豊見城。お互いガード陣がハードにプレッシャーをかけあう中で留学生に対する守り方のところで豊見城のインサイド陣のファールが嵩んだ。

●ポストゲームカンファレンス

6/22 主任 砂川氏(沖縄S級)

- ・テンポセッティング(ゲーム開始時の3vs2の確認→アングル確保のクロスステップ、Fの確認)
- ・ヘルプディフェンスに対する見方(プライマリ、プライマリアングル、Cからのセカンダリカバー)

6/23 主任 森田氏(長崎県A級)

- ・振る舞いへの対応、処置をした方がよかったのではないか
- ・後半のFの入れ方(前半とすると判定しなければいけないケースが増えた)
- ・プライマリ、コーリングレフリーについて(ダブルコール:プライマリレフリーがレポート)
- ・リバウンド時の手の確認

全体を通して

今回初めて高校総体後の九州高校に参加させていただきました。多くの上級の方々とのゲームを見る中で判定力はもちろんですが、立ち振る舞いや落ち着いた処置等非常に勉強になりました。今年度よ

リインターハイにて3POが実施される中、メカニクスの重要性を再確認したと同時にCC Mentality、プライマリの責任感に特に課題を感じました。ベーシックなメカニクスを実践することで判定への迷いが以前と比べて少なくなっていることを確認することができ少し自信になりました。ポストゲームカンファレンスで映像を用いながら確認していただいた際に、コート上でみていた画とは異なる画を確認しレフリーディフェンス、オープンアングルを習慣化できるよう普段からの意識を高め判定に繋げていきます。

最後に今回の派遣に御協力いただいたJBA、原田審判長はじめ鹿児島県バスケットボール協会の皆様に感謝申し上げ報告とさせていただきます。ありがとうございました。